

平成30年度

教育委員会の事務に関する点検評価報告書

令和元年8月

坂戸市教育委員会

目 次

◆ 点検及び評価の趣旨等	1
1 点検及び評価の趣旨	1
2 点検及び評価の対象等	1
3 点検及び評価の方法	1
4 点検及び評価の構成	1
◆ 平成30年度分対象事業の点検及び評価	3
基本計画 学校教育	3
基本計画 社会教育	7
基本計画 青少年の健全育成	10
基本計画 文化の振興・保護	11
基本計画 スポーツ・レクリエーション	13
総合教育会議等の状況	16
◆ 結びに	22

◆ 点検及び評価の趣旨等

1 点検及び評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育委員会は、毎年、学識経験を有する者の知見を活用して、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないことになっています。

本市教育委員会は、法の趣旨にのっとり、効果的な教育行政の推進に資するため、教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況に関する点検及び評価を実施し、毎年その結果を報告書にまとめています。

2 点検及び評価の対象等

教育委員会の事務事業は、本市の第6次坂戸市総合振興計画の平成24年度から令和3年度までの10年間を計画期間として策定されています。

教育委員会の事務事業に係る点検及び評価の対象事業については、第6次坂戸市総合振興計画の「学校教育」、「社会教育」、「青少年の健全育成」、「文化の振興・保護」及び「スポーツ・レクリエーション」に関し、教育委員会が所管する事務事業を対象とし、新規事業、重点的に取り組んだ事業及び数年周期のローテーションにより順次点検している事業の中から事務事業を選定し、点検及び評価を行いました。また、総合教育会議の開催状況の一覧表等を作成しました。

3 点検及び評価の方法

(1) 点検及び評価の客観性を確保するため、外部評価委員として教育に関し学識経験を有する外部の方を委嘱し、その知見を活用しました。

(2) まず、点検及び評価に当たっては、平成30年度の19事務事業について目的、実施状況、成果等について自己評価を行い、事務事業評価シートを作成しました。

次に、各課長等から外部評価委員に、事務事業評価シートに基づき説明等を行い、その後、外部評価委員から、外部評価に関する報告書をいただきました。

4 点検及び評価の構成

(1) 基本計画

第6次坂戸市総合振興計画の「学校教育」、「社会教育」、「青少年の健全育成」、「文化の振興・保護」及び「スポーツ・レクリエーション」に分類しました。

(2) 施策の方針

基本計画の施策の方針を掲載しています。

(3) 平成30年度の主な事務事業の目標、実績、自己評価、外部評価等

平成30年度に実施した主な事務事業の目標、実績、評価等を掲載しています。

ア 指標に対する達成度

個々の事務事業に対して指標を設定し、平成30年度の目標とその実績としての達成率等を掲載しています。

イ 外部評価

(ア) 項目別評価

次の表の項目別の評価を掲載しています。

- 必要性・・・「高い」：「検討の余地有」：「低い」
(・市民ニーズに対応しているか。・行政関与の必要性はあるか。)
- 有効性・・・「高い」：「高める余地有」：「低い」
(・目的とした効果はあるか。)
- 効率性・・・「効率的である」：「高める余地有」：「効率的ではない」
(・コスト面・業務面等効率的に執行されているか。・民間委託や他事業の統合・連携が可能か。)
- 方向性・・・「見直し(改善・効率化、縮小、統合、拡充)」：「継続」：「終了」：「休止」：「廃止」

(イ) 外部評価委員からの主な意見

外部評価委員の方々からいただいた御意見について、事業ごとに掲載しています。

(ウ) 外部評価をしていただいた外部評価委員は、次のとおりです。(敬称略)

- 渡 邊 庸 久 (元毛呂山町教育委員会教育長)
- 志 賀 康 子 (坂戸市子ども会育成会連絡協議会会長)

◆ 平成30年度分対象事業の点検及び評価

基本計画 学校教育

施策の方針

- 1 教育内容の充実
「確かな学力」「健康・体力」「豊かな人間性」を基盤とする「生きる力」を育む教育を充実します。
- 2 教育環境の整備
安心して学習、学校生活が送れるよう、より良い教育環境の整備に努めます。
- 3 教育の機会均等の確保
教育の機会均等、有能な人材の育成等を図るため、幼稚園、小中学校、高等学校、大学及び専修学校への入学または就学に係る費用等を負担する保護者に援助します。

平成30年度の主な事務事業の目標、実績、自己評価、外部評価等

1 教育内容の充実

事業名	英語力向上推進事業		所管	学校教育課
事業内容	中学生の英語力向上を図るため、市立中学校に通う全ての生徒に実用英語技能検定（英検）を受験する機会を設け、中学校卒業までに英検3級以上の合格者の割合を50%以上にするとともに、保護者の負担軽減を図ります。			
指標	30年度目標		30年度実績	
市立中学校の生徒の英検受験率	100%		98%	
中学3年生で英検3級以上の合格者の割合	50%		43%	
指標に対する達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の英検受験率：98% ・中学3年生で英検3級以上の合格者の割合：86% 		生徒の英検受験率は、目標どおり達成できました。 中学3年生で英検3級以上の合格者の割合は、達成できませんでした。が、平成30年度の全国平均42.6%を上回る結果となりました。	
自己評価	【評価、意見等】市立中学校の全ての生徒に英検を受験する機会を設けることは、生徒の英語学習に対する意欲を高め、グローバル社会に生きる生徒の「生きる力」を育む一助となることから、事業の継続が必要であると考えます。			
外部評価	必要性	有効性	効率性	方向性
	高い	高い	効率的である	継続
【外部評価委員からの主な意見】中学校卒業までに英検3級以上の合格者の割合を50%以上にするという具体的な目標を掲げて取り組み、平成30年度において全国平均を上回る成果を上げていることは評価できます。グローバル社会に生きる生徒の「生きる力」を育む一助として、受験費用を公費で負担することは、保護者の負担軽減及び生徒の英語学習に対する意欲の向上につながるため、有効性は高いと考えます。				

事業名	学校図書館整備事業		所管	学校教育課
事業内容	読書により、児童生徒の学習に対する興味や関心を引き起こし、想像力豊かな心を育むとともに、調べ学習に向けた図書資料の充実を図るため、児童生徒に必要な図書を購入し、学校図書館の充実を図ります。			
指標	30年度目標		30年度実績	
学校図書館用購入図書数	9,100冊		9,082冊	
学校図書充足率	100%		97%	
指標に対する達成度	<ul style="list-style-type: none"> 購入図書数：99% 学校図書充足率：97% 		おおむね目標どおり達成できました。	
自己評価	【評価、意見等】読書は、知的活動を増進し、想像力を高め、人間形成をし、情操を養う上で重要であることから、読書活動支援員、学校図書ボランティア等の協力を得るとともに、市立図書館と連携し、児童生徒が読んでみたいと思える図書の充実に努めます。			
外部評価	必要性	有効性	効率性	方向性
	高い	高い	高める余地有	継続
	【外部評価委員からの主な意見】幼少期における読書の重要性は、言を待たない。学校図書の充足率を高めるとともに、学校間における横断的な流通システムを構築し、蔵書の有効活用を図っていただきたい。児童生徒が一冊でも多くの本に触れ、読書することによる知的活動を増進し、想像力を高め、人間形成をし、情操を養うことは、重要であります。読書の楽しさや面白さを伝えることにより、健全な発達を図り、学校教育の充実につなげていただくことを希望します。			

事業名	私立幼稚園等特別支援教育費補助事業		所管	教育総務課
事業内容	心身に障害等のある幼児の市内の私立幼稚園等への就園を促進するため、支援を必要とする園児に係る特別支援職員の雇用経費の一部を補助します。			
指標	30年度目標		30年度実績	
補助人数	25人		19人	
補助金額	4,924,000円		3,424,000円	
指標に対する達成度	<ul style="list-style-type: none"> 補助人数：76% 補助金額：69% 		対象となる園児を確認し、補助金を交付することにより、特別支援教育の充実と振興を図ることができました。	
自己評価	【評価、意見等】心身に障害等のある幼児が年々増加傾向にあり、事業の継続が必要であると考えます。			
外部評価	必要性	有効性	効率性	方向性
	高い	高い	効率的である	継続
	【外部評価委員からの主な意見】心身に障害等がある幼児が年々増加傾向にあるため、早期発見と早期治療が重要とされています。周囲の適切な対応や一人ひとりの人権尊重教育のためにも、幼児期における特別支援職員の配置は重要であると思います。			

事業名	インターナショナルアシスト事業			所管	学校教育課
事業内容	学校生活の中で生活習慣や言語において指導が必要と思われる外国籍の児童生徒に対して、非常勤講師を派遣して日本語指導等を行います。				
指標	30年度目標			30年度実績	
派遣講師数	1人			2人	
対象児童生徒数	30人			36人	
指標に対する達成度	<ul style="list-style-type: none"> 派遣講師数：200% 対象児童生徒数：120% 			目標どおり達成できました。	
自己評価	【評価、意見等】日本語が話せない児童生徒等は、学習が理解できずに不登校になる可能性もあります。円滑な学校運営の推進と児童生徒の学習意欲の向上の観点からも、事業の継続が必要であると考えます。				
外部評価	必要性	有効性	効率性	方向性	
	高い	高い	効率的である	継続	
	【外部評価委員からの主な意見】学校生活の中で個別に指導を要する外国籍の児童生徒に対し、日本語指導を行うことは必要であると考えます。				

事業名	中学校社会体験チャレンジ事業			所管	学校教育課
事業内容	中学校の1年生と2年生を対象に、事業所等での職場体験や福祉体験活動を3日間行います。				
指標	30年度目標			30年度実績	
社会体験事業所数	253箇所			253箇所	
参加生徒数	970人			902人	
指標に対する達成度	<ul style="list-style-type: none"> 社会体験事業所数：100% 参加生徒数：92% 			目標どおり達成できました。	
自己評価	【評価、意見等】中学校では経験できない貴重な体験を通して、社会性、自立心等を養うことは重要であり、事業の継続が必要であると考えます。				
外部評価	必要性	有効性	効率性	方向性	
	高い	高い	効率的である	継続	
	【外部評価委員からの主な意見】中学生が地域の事業所等に出向き、職場体験をすることにより、社会性や職業観を醸成することは、誠に意義のあることと考えます。				

2 教育環境の整備

事業名	学校プレハブ借上事業		所管	教育総務課
事業内容	入西小学校、若宮中学校及び桜中学校において、児童・生徒数の増加に伴い、普通教室数の不足に対応するため、プレハブ校舎を借り上げています。また、城山中学校においては、施設一体型小中一貫校の実施に伴い、中学校内に小学生低学年用のプレハブ校舎を借り上げています。			
指標	30年度目標		30年度実績	
プレハブ校舎借上数	5校舎		5校舎	
指標に対する達成度	プレハブ校舎借上数：100%		目標どおり達成できました。	
自己評価	【評価、意見等】一時的な児童・生徒数の増加の対策方法として、校舎建設よりも安価であるプレハブ校舎を借り上げることは有効と考えます。			
外部評価	必要性	有効性	効率性	方向性
	高い	高い	効率的である	継続
	【外部評価委員からの主な意見】一時的な児童・生徒数の増加の対策方法としては、校舎建設よりも安価です。教室環境も良好に担保されているプレハブ校舎を借り上げることは妥当であると考えます。			

3 教育の機会均等の確保

事業名	小・中学校就学援助事業（給食費）		所管	教育総務課
事業内容	全ての児童生徒が学校給食の提供を等しく受けられるようにすることを目的として、就学援助認定要件に該当する保護者に、児童生徒の給食費を補助します。			
指標	30年度目標		30年度実績	
補助対象者	975人		1,099人	
指標に対する達成度	・補助対象者：112%		目標どおり達成できました。	
自己評価	【評価、意見等】全ての児童生徒が学校給食の提供を等しく受けられるようにするためには、就学援助認定要件に該当する保護者に、給食費の補助を行う必要があると考えます。			
外部評価	必要性	有効性	効率性	方向性
	高い	高い	効率的である	継続
	【外部評価委員からの主な意見】全ての児童・生徒が等しく学校給食の提供を受け、心身の健全な発達が図られるよう、該当する保護者に給食費を補助することは必要です。今後も継続的に補助をお願いします。			

基本計画 社会教育

施策の方針

1 生涯学習社会の構築

市民自ら適切な学習機会を選択し、自主的な学習ができるよう、学習情報の収集・提供及び学習相談体制の整備を図り、学習成果を生かした生涯学習によるまちづくりを推進します。

2 社会教育の充実

社会教育施設の整備・充実を図るとともに、学校教育との連携を強化し、学びの機会を拡充します。

3 公民館等の充実

市民の学習ニーズに即した公民館等事業を推進するとともに、クラブ、サークル等の支援・育成を行います。

4 図書館の充実

社会の様々な変化に伴い高度化及び多様化する市民の学習要求や課題解決に適切に対応するため、図書館の充実を図ります。

平成30年度の主な事務事業の目標、実績、自己評価、外部評価等

1 社会教育の充実

事業名	人権教育推進事業		所管	社会教育課
事業内容	人権教育に関わる指導者等の資質の向上と市民の人権意識の向上を図ることを目的に、公民館等人権講座、研修会への派遣、集会所事業、人権教育指導者等研修会等を行っています。			
指標	30年度目標		30年度実績	
公民館等人権講座開催回数	31回		31回	
公民館等人権講座参加者数	1,300人		1,344人	
指標に対する達成度	<ul style="list-style-type: none"> 開催回数：100% 参加者数：103% 		目標どおり達成できました。	
自己評価	【評価、意見等】地域の実情に応じた人権講座や研修会を開催するために、それらの方法及び内容の設定等を工夫し、事業を推進します。			
外部評価	必要性	有効性	効率性	方向性
	高い	高い	効率的である	継続
	【外部評価委員からの主な意見】様々な人権が叫ばれる中で、市民一人ひとりが正しく理解し、共に人権が尊重される共生社会となることは、大変重要なことです。今後も人権講座や研修会の方法や内容の設定を工夫して、人権意識の高揚と差別解消のため、人権講座・研修会や啓発を繰り返していく必要があります。時代の変化に対応した指導者の育成は、行政の重要な責務と考えます。			

事業名	公民館地震防災対策事業			所管	中央公民館
事業内容	耐震基準が改められた昭和56年以前に建築された公民館について、耐震診断を行い、補強の必要があると認められた場合は、耐震補強設計及び工事を行います。				
指標	30年度目標		30年度実績		
工事	1か所		1か所		
指標に対する達成度	・工事：100%		目標どおり達成できました。		
自己評価	【評価、意見等】昭和56年以前に建築された公民館は、現在の耐震基準を満たしていない可能性が高いため、平成26年度から順次耐震診断を実施してきました。今後も耐震診断の結果に基づき耐震補強工事を行い、市民の安心・安全を確保する必要があると考えます。				
外部評価	必要性	有効性	効率性	方向性	
	高い	高い	高める余地有	継続	
外部評価	【外部評価委員からの主な意見】市民の生涯学習の拠点であり、地域防災拠点施設である公民館の安心・安全を確保することは必須です。いろいろな事情があることとは思いますが、補助金を有効に活用しながら、城山公民館の耐震補強工事も早急に取り組んでいただきたいと考えます。				

2 公民館等の充実

事業名	各種教室・講座等開催事業			所管	中央公民館
事業内容	各種教室・講座等を通じて、実際生活に即した教養の向上、健康の増進、生活文化の向上等を図ることを目的として実施しています。				
指標	30年度目標		30年度実績		
教室・講座開催数	80講座		81講座		
教室・講座参加者数	3,812人		10,426人		
指標に対する達成度	・教室・講座開催数：101% ・教室・講座参加者数：273%		目標どおり達成できました。		
自己評価	【評価、意見等】公民館は、地域住民にとって最も身近な学びの拠点であり、今日まで生涯学習の推進に大きな役割を果たしてきました。今後も地域住民の要望等を踏まえ、事業効果に念頭を置きつつ、地域の拠点としての公民館の充実を図っていききたいと考えています。				
外部評価	必要性	有効性	効率性	方向性	
	高い	高い	効率的である	継続	
外部評価	【外部評価委員からの主な意見】地域住民にとって最も身近な学びの拠点であり、老若男女が気軽に集い、高めあえる場所が地域の公民館であると思います。学習ニーズの把握に努め、地域住民の視点に立った事業を展開していただきたいと思います。				

3 図書館の充実

事業名	図書館資料整備事業		所管	図書館
事業内容	市民の多様で高度な要望に応えられるよう、図書、地域資料及びAV資料を収集するとともに、ニューメディアによる資料提供を行います。また、子ども達が本に親しむことができ、心の成長を支援できるよう児童図書を充実させます。			
指標	30年度目標		30年度実績	
貸出冊点数	500,000冊点		508,486冊点	
人口一人当たりの貸出冊点数	4.8冊点		5.03冊点	
指標に対する達成度	<ul style="list-style-type: none"> 貸出冊点数：101% 人口一人当たりの貸出冊点数：104% 		目標どおり達成できました。	
自己評価	【評価、意見等】市民の要望等に応じて、図書館資料の整備を継続していますが、地域や住民の課題解決を支援する機能の更なる向上に努め、情報拠点としての役割を高めていきます。また、子どもの読書活動推進のための資料整備に努めていきます。			
外部評価	必要性	有効性	効率性	方向性
	高い	高い	効率的である	継続
	【外部評価委員からの主な意見】市民の多様で高度な要望に応えられるよう資料の充実を図るとともに、子ども達が本に親しみ、心の成長を支援できるよう児童図書を充実していただくようお願いします。また、公共施設や子育て支援課等との連携による読書環境の整備は良いことだと思います。			

事業名	図書館電算システム整備事業		所管	図書館
事業内容	図書館電算システムの充実及び整備を図り、インターネット、携帯電話等からの利用に配慮したシステムの運用に努めます。 また、市内の小中学校図書館の支援を目的とした学校図書館システムの運用を行います。			
指標	30年度目標		30年度実績	
図書資料予約総数	35,757件		37,935件	
システム利用による図書等予約数	25,124件		26,423件	
指標に対する達成度	<ul style="list-style-type: none"> 図書資料予約総数：106% システム利用による図書等予約数：105% 		目標どおり達成できました。	
自己評価	【評価、意見等】インターネットを活用した図書館利用へと市民ニーズも変化してきていることや、多様化している市民ニーズに迅速に対応できることから、本事業は、図書館サービスの向上及び事務の効率化に不可欠と考えます。			
外部評価	必要性	有効性	効率性	方向性
	高い	高い	効率的である	継続
	【外部評価委員からの主な意見】市民ニーズの変化及び多様化に対するサービスの向上並びに図書館業務の効率化のために、電算システムの整備は必要と考えます。			

基本計画 青少年の健全育成

施策の方針

- 1 健全育成活動の充実
健全育成体制を充実させ、市民と協働して地域環境づくりを推進します。
- 2 健全な家庭づくりの推進
健全な家庭づくりを推進するための啓発活動を行います。
- 3 青少年活動の充実
青少年活動の充実を図り、青少年の地域活動への参加を促進します。

平成30年度の主な事務事業の目標、実績、自己評価、外部評価等

1 健全育成活動の充実

事業名	青少年地域ふれあい事業		所管	社会教育課
事業内容	子ども達の居場所づくりを目的に、地域の方々が参画し、伝承遊び、スポーツ・文化活動等を行う「放課後げんき教室」を実施しています。三芳野小学校、勝呂小学校及び片柳小学校のほか、平成30年10月には、大家小学校で新規開設しました。			
指標	30年度目標		30年度実績	
開催回数	103回		102回	
参加児童数	280人		293人	
指標に対する達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数：99% ・参加児童数：105% 		目標どおり達成できました。	
自己評価	【評価、意見等】今後も引き続き各学校のサポーターズクラブと連携しながら効率的な事業展開を図っていきます。			
外部評価	必要性	有効性	効率性	方向性
	高い	高い	効率的である	継続
	【外部評価委員からの主な意見】放課後に、子ども達の安全・安心な居場所が確保され、地域の方々のサポートを得て、体験活動や交流活動が行われることは、子ども達の健全育成のために、非常に有意義であると考えます。参加者の保護者からは好評であり、今後の継続を希望します。			

基本計画 文化の振興・保護

施策の方針

1 文化活動の振興

文化施設を拠点とし、芸術文化催事の提供や文化団体の支援など、各種文化事業を文化団体等との連携により促進します。

2 文化財の保護

文化財の調査・保存に努め、活用と市民への公開を推進するとともに、郷土に培われた歴史・文化を保護します。

平成30年度の主な事務事業の目標、実績、自己評価、外部評価等

1 文化財の保護

事業名	文化財案内板設置事業		所管	社会教育課
事業内容	既存の案内板の老朽化を改善するため、文化財の所在する場所に設置する案内板を建て替えるとともに、必要な箇所には新規に案内板を設置することも視野に入れて事業を進めています。案内板の表示は、幅広い世代に理解され、親しまれるような表現とすることで、地域資源である文化財の普及及び啓発に努めています。			
指標	30年度目標		30年度実績	
案内板設置数	1基		1基	
案内板設置達成率	68%		68%	
指標に対する達成度	<ul style="list-style-type: none"> 案内板設置数：100% 案内板設置達成率：100% 		目標どおり達成できました。	
自己評価	【評価、意見等】本事業は、文化財が市民共有の財産であり、ウォーキング等による訪問者にとっても貴重な資源であることを勘案し、地域の歴史を学習することに加え、文化財保護の意識を醸成するために効果的な事業であるため、継続できるよう努めていきます。			
外部評価	必要性	有効性	効率性	方向性
	高い	高い	効率的である	継続
外部評価	【外部評価委員からの主な意見】市民共有の財産である文化財を地域資源として再認識していただくためにも、地域の歴史を学習し、文化財保護の意識を醸成して郷土愛を高めていただければと願います。また、既存の看板等を活用したウォーキングや学習も進められています。坂戸文化かるたと併せて、普及・啓発に行政も着眼し、積極的に推進していただきたい。			

事業名	指定文化財保護事業		所管	社会教育課
事業内容	<p>指定文化財は、関係者による適切な管理により、良好な状態を維持していますが、これら文化財そのものだけでなく、文化財を継承するために必要な備品類等の修理、保存等をする事業に対し、補助を行っています。無形民俗文化財に関しては、「坂戸市無形民俗文化財保存団体協議会」の下、各保存会の意識改革と情報交換に努め、芸能上演を行う等活発に活動しています。</p>			
指標	30年度目標		30年度実績	
補助金の活用団体数	28 団体		28 団体	
伝統芸能発表会参加団体数	4 団体		4 団体	
指標に対する達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金の活用団体数：100% ・伝統芸能発表会参加団体数: 100% 		目標どおり達成できました。	
自己評価	<p>【評価、意見等】地域における文化財の保存・管理活動は、関係者に定着し、文化財の価値は、市民に周知されつつあります。文化財の保存団体の意識も主体性が見られるようになり、後継者の新規加入などの動きもあって、事業の効果は表れているため、事業の継続に努めたいと考えます。</p>			
外部評価	必要性	有効性	効率性	方向性
	高い	高い	効率的である	継続
外部評価	<p>【外部評価委員からの主な意見】有形文化財、無形民俗文化財、記念物等が適正に管理され、活用されることは、文化財の保存・継承という大切な目的のために必要なことと考えます。地道な仕事ではありますが、しっかりやっていただきたいと思います。意識改革と情報交換の賜物か、後継者の新規加入などもあり、事業の効果が見られています。継続してお願いします。</p>			

基本計画 スポーツ・レクリエーション

施策の方針

- 1 スポーツ・レクリエーション活動の充実・支援
生涯スポーツ社会の実現に向け、スポーツ教室・大会等を充実し、スポーツ・レクリエーション団体及び指導者を育成するとともに、施設や団体等の情報提供体制を整備します。
- 2 施設の整備・充実・活用
市民総合運動公園等の社会体育施設の整備・充実はもとより、学校・公民館等の体育施設の有効活用並びに障害者にやさしい施設の整備・充実及び効率的な利用を促進します。

平成30年度の主な事務事業の目標、実績、自己評価、外部評価等

1 スポーツ・レクリエーション活動の充実・支援

事業名	各種スポーツ大会出場費補助事業		所管	スポーツ推進課
事業内容	市内に在住し、在勤し、又は在学する者に対し、関東大会、全国大会等のスポーツ大会に出場する際の経費の一部を出場区分等に応じて補助することで、出場者の経済的負担の軽減を図り、もって各種スポーツ大会への参加促進及び市民スポーツの振興に寄与します。			
指標	30年度目標		30年度実績	
申請件数	71件		71件	
補助金額	800,000円		895,000円	
指標に対する達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・申請件数：100% ・補助金額：111% 		目標どおり達成できました。	
自己評価	【評価、意見等】各種スポーツ大会への参加を促し、市民の体力向上に寄与しているため、継続して実施していく必要があると考えます。			
外部評価	必要性	有効性	効率性	方向性
	高い	高い	効率的である	継続
【外部評価委員からの主な意見】各種スポーツ大会に参加する際に、諸経費の一部を補助することは、出場者の経済的負担を軽減し、参加者の意欲を増進して、市民スポーツの振興に大いに寄与するものと考えます。				

2 施設の整備・充実・活用

事業名	市民総合運動公園管理事業		所管	スポーツ推進課
事業内容	<p>指定管理者による施設の管理及び運営を行っていますが、施設の設置者として施設改修や備品購入等を効率的に実施しています。</p> <p>体育館等の各施設は、老朽化が著しく、様々な箇所で修繕の必要があるため、計画的に改修及び更新をし、長寿命化を図ります。</p>			
指標	30年度目標		30年度実績	
改修工事・修繕・備品更新件数	12件		24件	
利用者数	375,000人		385,337人	
指標に対する達成度	<ul style="list-style-type: none"> 改修工事・修繕・備品更新件数：200% 利用者数：103% 		目標どおり達成できました。	
自己評価	【評価、意見等】市のスポーツ活動の拠点となる本施設の機能維持を図るため、老朽化した施設等を計画的に改修し、施設利用者が安心して安全で快適に施設を利用できるよう努めます。			
外部評価	必要性	有効性	効率性	方向性
	高い	高い	高める余地有	継続
	【外部評価委員からの主な意見】指定管理者による施設の管理・運営は、予算的にも効率的であります。運営面においては、新しいアイデアや企画が提案されて実施され、利用者が喜んで、安全で快適に施設を利用しています。施設は、建設後40年が経過し、老朽化が進んでいるため、計画的かつ効率的に改修や更新が必要であると考えます。			

事業名	学校体育施設開放事業		所管	スポーツ推進課
事業内容	<p>市内のスポーツ施設が不足していることから、市民が身近にスポーツに親しむことができる場が限られているため、学校教育に支障のない範囲で学校体育施設を開放することにより、これを補っています。</p> <p>施設利用団体の登録事務をはじめ、利便性向上のため、消耗品の購入及び夜間照明施設の保守、修繕等を行っています。</p>			
指標	30年度目標		30年度実績	
消耗品等の購入品目数	7点		28点	
登録団体数	150団体		139団体	
指標に対する達成度	<ul style="list-style-type: none"> 消耗品等の購入品目数：400% 登録団体数：92% 		目標どおり達成できました。	
自己評価	【評価、意見等】健康志向が高まる中、スポーツの需要が増し、また、種目が多様化していることから、各地域におけるスポーツ活動の場を確保するために、学校体育施設の利用は必要不可欠であると考えています。			
外部評価	必要性	有効性	効率性	方向性
	高い	高める余地有	高める余地有	継続
	【外部評価委員からの主な意見】学校教育に支障のない範囲で、学校体育施設を開放することは、スポーツ愛好者にとっては有効な手段と考えます。厳しい財政状況の中、今後は受益者負担もやむを得ないものと考えます。			

事業名	運動公園施設管理事業		所管	スポーツ推進課
事業内容	日常的な維持及び管理に加え、冠水により表土が流出したグラウンドの復旧やベンチ等の施設の老朽化への対応をする等、運動公園の利用者がいつでも安全で快適に利用できるよう施設の整備を行っています。			
指標	30年度目標		30年度実績	
管理委託件数	4件		7件	
利用者数	130,000人		130,772人	
指標に対する達成度	<ul style="list-style-type: none"> 管理委託件数：175% 利用者数：100% 		目標どおり達成できました。	
自己評価	【評価、意見等】グラウンド整備や老朽化した施設を計画的に改修し、利用者が安全で快適に利用できるよう努めます。			
外部評価	必要性	有効性	効率性	方向性
	高い	高い	高める余地有	継続
	【外部評価委員からの主な意見】健康志向が高まる中、市内の運動公園の利用者も増加傾向にあります。利用者がいつでも、安全で快適に利用できるよう、老朽化した施設を計画的に改修し、修繕し、及び整備することは、行政の責務です。			

総合教育会議等の状況

1 総合教育会議の開催状況

開催日	内 容
平成30年6月27日	不登校児童・生徒への対応について
平成30年9月25日	学校支援員について
平成30年12月26日	学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の設置について
平成31年3月26日	坂戸市立中学校における部活動について

2 教育委員会会議の開催状況

- ・議案数 47件（原案可決47件）
- ・請願 2件（不採択2件）
- ・専決処理 1件

開催日	内 容
平成30年4月19日	平成30年度坂戸市教育行政重点施策の策定について
	坂戸市立中学校部活動指導員の委嘱について
	坂戸市立中央公民館非常勤職員の委嘱について
平成30年5月15日	平成30年度一般会計教育費補正予算について
	坂戸市健康増進施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	坂戸市教育委員会外部評価委員の委嘱について
	坂戸市スポーツ推進審議会委員の辞職について
	坂戸市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
	坂戸市スポーツ推進委員の委嘱について
	坂戸市立公民館運営審議会委員の辞職について
	坂戸市立公民館運営審議会委員の委嘱について
	坂戸市幼児教育の在り方に関する検討会設置要綱の制定について
平成30年6月27日	坂戸市社会教育委員の委嘱について
	坂戸市立同和対策集会所運営委員会委員の辞職について
	坂戸市立同和対策集会所運営委員会委員の委嘱について
	坂戸市立図書館協議会委員の委嘱について
平成30年7月24日	平成31年度使用小学校用教科用図書の採択について
	平成31年度使用中学校用教科用図書「特別の教科 道徳」の採択について
	坂戸市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について

平成30年8月14日	平成29年度一般会計教育費決算について
	平成30年度一般会計教育費補正予算について
	平成29年度教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
	坂戸市健康増進施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
平成30年9月25日	平成31年度当初坂戸市立小・中学校教職員人事異動の方針について
	坂戸市立三芳野公民館非常勤職員の辞職について
	坂戸市立三芳野公民館非常勤職員の委嘱について
平成30年11月8日	平成30年度一般会計教育費補正予算について
	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
	指定管理者の指定について
平成30年12月26日	坂戸市立同和対策集会所運営委員会委員の辞職について
平成31年2月8日	平成30年度一般会計教育費補正予算について
	平成31年度一般会計教育費当初予算について
	坂戸市健康増進施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	平成31年度当初坂戸市立小・中学校校長の人事について
	坂戸市立同和対策集会所運営委員会委員の委嘱について
	坂戸市立小・中学校県費負担教職員の自家用自動車の公務使用に関する取扱要綱の一部を改正する告示について
	坂戸市スポーツ推進計画中間年次改訂版の策定について
平成31年3月26日	坂戸市立小・中学校学校薬剤師の辞職について
	坂戸市立小・中学校学校薬剤師の委嘱について
	坂戸市教育委員会職員の任免について
	坂戸市教育センター所長の委嘱について
	坂戸市立中学校部活動指導員の委嘱について
	坂戸市社会教育指導員の委嘱について
	坂戸市立勝呂公民館非常勤職員の辞職について
	坂戸市立勝呂公民館非常勤職員の委嘱について
	坂戸市立図書館運営規則の一部を改正する規則の制定について
	坂戸市中学生社会体験チャレンジ事業推進委員会設置要綱を廃止する告示について

○請願

請願日	内 容
平成30年7月8日	2019年度使用中学校道徳教科書の採択に係る請願について
平成31年1月17日	坂戸南小学校、奥隅一之校長、足立憲治教頭の転勤・異動に関する請願について

○専決処理

専決処理日	内 容
平成31年1月21日	坂戸市教育委員会職員の配置換えについて

3 教育委員会協議会の開催状況

○協議事項及び報告事項

開催日	内 容
平成30年4月19日	坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件
	平成29年度坂戸いじめ等の防止に関する調査結果について
	平成29年度不登校児童生徒数について
	平成29年度児童生徒の交通事故について
	平成30年度坂戸市立教育センター教育相談員等について
	平成30年度学校教育課グランドデザインについて
	第17回坂戸市民スポーツフェスティバルについて
	春の図書館まつりについて
	学力のびのび塾の募集について
平成30年5月15日	坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件
	平成30年度教科書採択並びに教科書展示会について
	第3回伝統芸能発表会について
	「学力のびのび塾」の募集結果について
	第17回坂戸市民スポーツフェスティバルの結果について
	平成29年度公民館・地域交流センター事業報告書について
	平成30年度公民館・地域交流センター事業計画書について
	平成30年度公民館・地域交流センター定期利用団体一覧表について
	春の図書館まつり開催結果について
	障害者スポーツ大会について
平成30年6月27日	坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件
	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の概要について
	坂戸市子ども議会の開催について

	第3回伝統芸能発表会の開催結果について
	第22回坂戸市埋蔵文化財出土品展の開催について
	坂戸市民プールのオープンについて
	第31回県民総合体育大会兼第3回坂戸市ラケットテニス大会について
	第3回坂戸市長旗関東古希軟式野球大会について
	「家庭の約束」リーフレットについて
	Sakado English Campの実施について
	6月議会定例会市政一般質問・答弁概要について
平成30年7月24日	坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件
	夏季休業期間における小学校水泳指導への指導者の派遣について
	第5回坂戸市図書館を使った調べる学習コンクールの募集について
	大川平三郎伝記（子ども版）読書感想文コンクールの募集について
	夏の図書館まつりについて
	勝呂廃寺の発掘調査について
	小中学校におけるブロック塀等の安全点検について
	市民総合運動公園の事故及び脱水症と熱中症による救急搬送について
平成30年8月14日	坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件
	坂戸子ども議会の開催結果について
	第1回坂戸市いじめ問題対策連絡協議会について
	坂戸市立中学校の部活動方針（案）について
	第22回坂戸市埋蔵文化財出土品展の開催結果について
	第14回坂戸市長旗関東還暦軟式野球大会について
	平成30年度地区市民体育祭について
	平成31年坂戸市成人式について
	夏の図書館まつりの開催結果について
	平成31年度当初予算要求に関する実施計画書について
	図書館要覧について
	Sakado English Campの報告について
	水泳授業へのスイミングスクール指導者を派遣した結果について
平成30年9月25日	坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件
	勝呂廃寺発掘調査について
	平成30年度坂戸市民プール利用者数について
	平成30年度公民館・地域交流センター文化祭について

	第10回地域相互協力図書館合同主催公開講座 「健康食品との正しいつきあいかた」の開催について
	9月議会定例会市政一般質問・答弁概要について
平成30年10月23日	坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件
	いきいき学舎検討委員会について
	平成30年度地区市民体育祭の結果について
	秋の図書館まつりの開催結果について
平成30年11月8日	坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件
	第5回坂戸市図書館を使った調べる学習コンクール結果報告について
	11月17日の少年の主張大会について
	11月11日の市内文化祭と図書館まつりの視察について
平成30年12月26日	坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件
	平成31年度坂戸市立末広幼稚園園児（4歳児）募集結果について
	平成30年度少年の主張大会の結果について
	第18回坂戸市民チャリティマラソンの結果について
	平成30年度高麗川ふるさと健康ウォーキングの実施について
	平成30年度公民館・地域交流センター文化祭の結果について
	秋の図書館まつりの結果について
	12月議会定例会市政一般質問・答弁概要について
	平成31年坂戸市成人式式典登壇者について
平成31年1月22日	坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件
	第18回坂戸市民スポーツフェスティバルについて
	平成31年坂戸市成人式の結果について
平成31年2月8日	坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件
	平成30年度小・中学校卒業式について
	大川平三郎伝記（子ども版）読書感想文コンクールの結果報告について
平成31年3月26日	坂戸市教育委員会後援依頼等に関する件
	平成31年度坂戸市教育行政重点施策（案）について
	平成31年度始め式及び辞令交付式について
	坂戸市幼児教育の在り方に関する検討会提言書について
	第2次坂戸市いきいき学舎検討委員会中間報告について
	平成30年度第2回坂戸市いじめ問題対策連絡協議会の報告について
	平成31年度坂戸市立小・中学校入学式出席者の確認及び教育委員会のことばについて

	平成31年度坂戸市立小・中学校当初人事について
	平成31年度新採用教職員及び転入教職員着任式について
	平成30年度学力のびのび塾の結果について
	3月議会定例会市政一般質問・答弁概要について

4 教育長及び教育委員が構成員として会議、視察研修等に出席した各種連合会、協議会等

- ・全国都市教育長協議会
- ・関東地区都市教育長協議会
- ・埼玉県都市教育長協議会
- ・埼玉県市町村教育委員会教育長研究協議会
- ・埼玉県市町村教育委員会連合会
- ・埼玉県市町村教育委員会教育委員研究協議会
- ・西部教育事務所管内市町村教育委員会教育長会議
- ・入間地区教育委員会連合会
- ・入間北部教育委員会連絡協議会
- ・入間・比企地区合同教育長・教育委員研修会

5 教育委員出席の主な行事等

- ・年度始め式及び辞令交付式
- ・小中学校入学式
- ・小学校運動会
- ・中学校体育祭
- ・中学校文化祭
- ・地区体育祭
- ・公民館文化祭
- ・子ども議会
- ・小中学校音楽祭
- ・成人式
- ・小中学校卒業式

◆ 結びに

教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価については、平成20年度から、坂戸市総合振興計画に掲げられた教育委員会所管の事務事業を対象として実施してまいりました。

今年度の点検評価は、第6次坂戸市総合振興計画後期基本計画の平成30年度の取組を対象といたしました。その結果、全19の施策における各事業が着実に取り組まれていることを確認しました。ここで改めて確認した成果や課題、今後の方向性を基に、今年度の事業を推進してまいります。

中には、目標を達成できなかった指標がありましたが、改善に努め、目標値の達成を目指してまいります。

本市教育委員会では、「学び合い交流する人づくりのまち」を教育の基本理念として掲げ、子どもから高齢者までの誰もが学び合い、伝統と文化を伝える機会や、交流活動のできる場所づくりを支援してまいります。

最後に、貴重な御意見や御提言をいただきました外部評価委員のお二方に、心からお礼申し上げます。